



令和3年定例会 5月特別会議・6月会議

議会の後期体制決まる	2
新型コロナワクチン接種関連予算増額	4
9人が登壇 一般質問	9
町長にコロナ対策緊急要望を提出 議会モニター始まる	19
“自分流”街道歩き 終着は「奥の細道」へ	20

[表紙写真：願いがとがかないますように！(さやまこども園)]

9月会議の予定

9月3日(金)	議案提案
6日(月)	一般質問
7日(火)	一般質問
8日(水)	総務事業常任委員会
9日(木)	民生教育常任委員会
10日(金)	予算決算常任委員会
28日(火)	議案採決

*日程は追加・変更することがあります。

令和3年定例会5月特別会議

議会の後期体制決まる

令和3年定例会5月特別会議を5月12・13日に開き、12日は町長から提出された一般会計補正予算について審議し、可決しました。13日は議長・副議長をはじめ、議会運営委員会委員や、今回から新たに設置した予算決算常任委員会を含めた各常任委員会委員、城南衛生管理組合議会議員などの選挙や選出をおこない、後期の議会構成が決まりました。

また、町長から提出された議会選出の監査委員の選任同意についても原案のとおり同意しました。

※町議会では、議会人事を議員の任期（4年）を前期と後期に分けて、議会の体制を決めています。



副議長
松本義裕

議会としての行政
チェック機能の強化や、
本町のさらなる発展に向
けて、全力で取り組んで
まいります。
今後とも、皆さまの温
かいご指導、ご鞭撻をよ
ろしくお願いします。



議長
中井孝紀

今年度から本格導入
した通年議会を活用し
て、住民の皆さまから信
頼される議会となるよう
に、議員間の議論を重視
し、町政の発展と住民福
祉の向上に取り組んでま
います。

町議会から選出する一部事務組合等の議会議員



監査委員

内田孝司

議会議員から選任する
町の監査委員は内田孝司
議員に決まりました。

城南衛生管理組合議会

ごみ・し尿を共同処理する、本町
を含む3市3町の一部事務組合の議
会議員（定数22名）

篠田久和
樋口房次

京都府後期高齢者医療広域連合議会

後期高齢者医療の事務処理をおこ
なう、府内の全市町村で構成する広
域連合の議会議員（定数30名）

巽悦子

京都地方税機構議会

京都府と京都市以外の府内市町村
が、税業務を共同でおこなう組織の
議会議員（定数32名）

中野ますみ

総務事業常任委員会

広報、行財政、防災、消防、農商工業、道路、河川、都市計画、上下水道などを調査。



委員長
林 吉一



副委員長
樋口 房次



委員
篠田 久和



委員
中野ますみ



委員
島 宏樹



委員
岩田 芳一



委員
松尾 憲

民生教育常任委員会

福祉、保健、介護、戸籍、子育て、環境、清掃、こども園、学校教育、社会教育などを調査。



委員長
巽 悦子



副委員長
田口 浩嗣



委員
芦田 祐介



委員
松本 義裕



委員
内田 孝司



委員
戸川 和子

議会運営委員会

本会議や委員会などの議事の運営・能率的な進行を図る。

委員長 戸川 和子

副委員長 島 宏樹

委員 松本 義裕

委員 松尾 憲

委員 田口 浩嗣

委員 巽 悦子

広報広聴委員会

議会広報、議会ホームページの充実など、情報公開に努める。また、議会モニターなどを通じて、広報広聴活動に取り組む。

委員長 松尾 憲

副委員長 巽 悦子

委員 篠田 久和

委員 松本 義裕

委員 林 吉一

委員 樋口 房次

委員 岩田 芳一

予算決算常任委員会

各種予算・決算の内容を審査、調査。

委員長 岩田 芳一

副委員長 篠田 久和

委員 議長を除く13名の議員

会派構成

◎は代表者

5月13日現在の会派構成を紹介します。

公明党議員団	◎戸川 和子 岩田 芳一
日本共産党議員団	◎巽 悦子 中野ますみ
くみやま みらい	◎島 宏樹 林 吉一 松本 義裕
ネクストくみやま	◎田口 浩嗣 内田 孝司 篠田 久和
会派に属さない議員	中井 孝紀 樋口 房次 松尾 憲 芦田 祐介

会派とは、議会内に結成された主義主張を同じくする議員の団体をいいます。
町議会では、2人以上を会派として認めています。

新型コロナウイルスワクチン 接種関連予算増額

定例会
6月会議

5月
特別会議

補正予算

新型コロナウイルスワクチン接種関連予算

8012
万円

ワクチン接種にかかる費用や集団接種会場（京都岡本記念病院）において必要となる物資や看護師費用などを計上。費用は国からの全額補助。

〈5月特別会議〉934万円

- ・ 集団接種会場のテント借上げ、設置など

〈6月会議〉7078万円

- ・ ワクチン接種費用（12歳以上）
- ・ 64歳以下のワクチン接種券の郵送、ワクチン輸送
- ・ 集団接種会場のテント借上げ（期間延長分）、会場スタッフなどの運営、会場に従事する看護師費用など

定例会5月特別会議および定例会6月会議では、町長から令和3年度補正予算や令和2年度補正予算の専決処分、また条例改正などの提案があり、慎重審議のうえ、全て可決・承認しました。

中央公民館 解体事業

1億7520
万円

閉館した中央公民館を全世代・全員活躍まちづくりセンターへ建て替えるため、内装や外壁などの解体工事に着手する。

Q 安全面を考慮して、資材などの搬出経路を役場庁舎西側のルートにはしては。

A 搬出経路を検討した中で、庁舎南側からのルートを考えている。

子育て世帯生活支援 特別給付金

1355
万円

新型コロナの影響が長期化する中、ひとり親など低所得の子育て世帯に、児童一人あたり5万円を支給。

Q 申請が必要となる対象者の手続きは。

A 京都府および本町から該当者に個別に周知するなど、対応していきたい。

契約

佐山排水機場施設更新工事 (第1期)

安定した排水機能維持のため、老朽化した排水ポンプを更新する。

契約金額 3億4100万円

契約業者 (株) 神鋼環境ソリューション大阪支社

Q 更新ポンプの詳細は。

A 複数の会社が製作しているポンプから選ぶ。契約後、町が材料承認してからの受注生産となる。

みまきこども園整備工事

こども園本園・分園の施設一体化のため、新築園舎棟、既設園舎改修工事をおこなう。

契約金額 1億9789万円

契約業者 (株) 大安組

Q どのような施設になるのか。

A 広く芝生を使用するなど、子どもたちが緑に親しめる施設を考えている。

条例改正

◆町税条例等の一部改正 (専決処分)

軽自動車税環境性能割の臨時的軽減を延長し、令和3年12月31日までに取得したものを対象とする。

◆介護保険条例の一部改正 (専決処分)

新型コロナウイルスの影響により第1号被保険者に係る介護保険料について、令和3年度も減免期間を延長する。

人 事

◆監査委員

川崎 隆治氏(再任)

任期満了(6月19日)に伴い、引き続き選任することに同意しました。
任期は4年です。

◆よとがわ 澁川右岸水防事務組合議会議員選挙

袖岡 英次氏(新任・大橋辺)
八木 孝氏(新任・大橋辺)

任期満了(7月29日)に伴い、新たに当選されました。
任期は4年です。

新たな福祉避難所の設置
受け入れ方法は

Q 久御山しみずの里が福祉避難所として設置されるが、対象者は。

A 介護認定1・2の方を想定している。

Q 避難する場合、町から施設へ受入れ申請が必要だが、自ら避難することはできないのか。



福祉避難所となる久御山しみずの里

A 対象者の情報は町が把握しているのですが、今は想定していません。個人情報取り扱いなども含めて、京都府に相談していきたい。

就域ディレクター
専任者の設置は

Q 地域の雇用確保と経営安定のため、地域への就職を支援する就域ディレクター事業は、専任者を設置するのか。

A 団体と契約し、担当者2名が専任され、ニーズ把握など活動の集約をおこなう。

Q 企業訪問の選定方法は。

A 事前アンケートで訪問を希望している200社に対し、6〜9月の間で順次訪問を予定している。
5〜10名の雇用確保を目指したい。

新市街地(みなくるタウン)整備事業

事業化検討パートナーの選定

3月27日に、まちづくり協議会では、土地区画整理事業の計画案策定に向けて、光亜興産株式会社・株式会社大林組共同企業体を事業化検討パートナーとする覚書の締結が承認された。

4月23日の覚書締結によって、地権者の土地利用の意向に沿った事業計画案の作成が具体化されることになる。

プロジェクト会議を設立

さらに、みなくるタウン第1期整備地区推進プロジェクト会議を設立し、関係権利者の意見調整や土地利用意向の集約、進出企業の誘致など、事業推進体制を構築しながら、土地区画整理事業準備組合設立に向けた準備を進めていく。

土地区画整理事業の準備組合
設立に向けて進める



今年度の実施事業と取り組み

〈産業立地促進ゾーン〉

- ・まちづくり協議会の支援業務
- ・クランク部の交差点改良工事
- ・基幹道路の整備に伴う委託業務

〈住街区促進ゾーン〉

- ・住街区促進ゾーン整備検討業務
- ・アドバイザーボード(*)の設置
- ・住街区づくりサロンの開催

*アドバイザーボードとは、有識者や地権者代表などと、意見交換や助言をおこなう会議

中学校プールサイド 亀裂箇所補修は

Q 日よけテント支柱を撤去するというが、プール見学者はどこで見るのか。

A プール見学者は暑いので難しいため、学校側と調整した。覆いがついていないため、使用していない。見学は、天候にもよるが体調の悪い時は教室内にて休んでいる。



撤去するテント支柱

Q プールの内側がクラック（亀裂）で水漏れがあると聞いていたが、それとは違うのか。

A プールサイドの鉄筋が入っていない部分のへこみを補修した後、プールサイド全面に塩ビシートを貼る。

東角小学校フェンス改修 安全面の配慮は

Q 改修に至った理由、安全面は。台風による東面側の傾きを確認した。

通学路側であるため、優先的に実施する。

夏休みに工事をするが、始業式に間に合うよう完了したい。

Q それ以外の面の状況は。

A 南側のフェンスは、防球ネットと二重になっているが、順次点検し検討する。

休会中の事務調査 4月27日

クリーンパーク折居を視察

1日115トンの可燃ごみを焼却

クリーンパーク折居は、城南衛生管理組合(*)の施設で、平成30年3月に完成し、4月から稼働している。

この施設は、設計・施工、運営を一括して民間事業者へ委託するDBO方式を採用している。

焼却能力では、2炉設置し、1日115トンの可燃ごみを焼却できる。

週5日約76台の収集車がごみを搬入

収集されたごみを受け入れるプラットフォームの受け入れ口は4カ所あり、主に宇治市、久御山町のごみを受け入れ、週5日で約76台の収集車がごみを搬入。

また、ごみを一時的に留置する「ピット」では、約5日間分のごみを留置できる。

久御山町と宇治市の可燃ごみ 1日115トンを処理



コンピューター制御で安全・効率的

各々の機器を集中管理している中央制御室では、運転員が24時間監視し、コンピューター制御により、安定かつ効率的に施設の運転をおこなっている。

(*)城南衛生管理組合とは…宇治市、城陽市、八幡市、久御山町、宇治田原町、井手町で構成し、現在、人口36万4,628人のごみ・し尿を共同処理している団体

5月特別会議・6月会議

令和2年度補正予算（専決処分）

区分	補正額	補正後の額	
一般会計（第12号）	▲2億6849万円	96億6748万円	
特別会計	国民健康保険（事業勘定）（第4号）	▲1億69万円	19億1347万円
	介護保険（第5号）	▲300万円	14億8254万円
	後期高齢者医療（第4号）	▲1344万円	2億8395万円

令和3年度補正予算

区分	補正額	補正後の額	
一般会計（第1・2・3号）	2億9431万円	78億4831万円	
特別会計	国民健康保険（事業勘定）（第1号）	30万円	18億6820万円
	三郷山財産区（第1号）	1645万円	2085万円

*万円未満は四捨五入（▲=減額）

全議案の採決結果

賛否が分かれた議案

○=賛成 ×=反対

(注) 表中の○及び×は、○=賛成討論、×=反対討論をおこなっています。

議案/議員	公明党		共産党		くみやまみらい			ネクストくみやま		会派に属さない議員				結果		
	岩田芳一	戸川和子	中野ますみ	巽悦子	松本義裕	林吉一	島宏樹	篠田久和	内田孝司	田口浩嗣	芦田祐介	松尾憲	樋口房次		中井孝紀	
条例	町税条例等一部改正の専決処分の承認	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	承認
人事	監査委員の選任同意（川崎隆治氏を選任）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	※	同意
契約	久御山町立みまきこども園整備工事請負契約の締結	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決

※中井議長は、賛否同数以外は採決に加わりません。

全員賛成で可決・承認等をした議案

2年度補正予算	一般会計（第12号）の専決処分の承認
	国民健康保険特別会計（事業勘定）（第4号）の専決処分の承認
	介護保険特別会計（第5号）の専決処分の承認
	後期高齢者医療特別会計（第4号）の専決処分の承認
3年度補正予算	一般会計（第1号）※（第2・3号）
	国民健康保険特別会計（事業勘定）（第1号）
	三郷山財産区特別会計（第1号）
人事	監査委員の選任同意（内田孝司氏を選任）※
条例	都市計画税条例一部改正の専決処分の承認
	介護保険条例一部改正の専決処分の承認
	町税条例一部改正
	ふれあい交流館ゆうホールの設置及び管理に関する条例一部改正
	総合体育館条例一部改正
	公民館条例廃止
契約	佐山排水機場施設更新工事（第1期）請負契約の締結

※は5月特別会議で上程された議案



**9 議員が
登壇**

一般質問では、行政全般について町長などに質問しました。

**一 般
質 問**

ここが聞きたい

質問者	質問項目（質問方法）	ページ
しのだ 久和 議員 ひさかず	①ヤングケアラー 一括質問	P10
はやし 吉一 議員 よしかず	①防犯対策 ②災害対策 一問一答	P11
たぐち 浩嗣 議員 こうじ	①防災 ②教育 一問一答	P12
あした 祐介 議員 ゆうすけ	①教育委員会の体質 ②野村村東の騒音等* ③山城人権ネットワーク推進協議会 一問一答	P13
まつもと 義裕 議員 よしひろ	①教育関連施設のトイレ整備 ②歩行者及び自転車専用通路の安全対策 一問一答	P14
とがわ 和子 議員 かずこ	①新型コロナウイルスの現状 ②新型コロナウイルスワクチン接種等 ③奨学金返還支援事業 一問一答	P15
まつお 憲 議員 あきら	①中央公園整備 ②官民連携の考え方 ③中学校校舎外壁タイル工事のその後 一問一答	P16
なかの 中野ますみ 議員	①コロナ禍の中での支援策 ②適格請求書（インボイス） ③新市街地（みなくるタウン） 一括質問	P17
たつみ 悦子 議員 えつこ	①コロナ禍における感染拡大防止と支援 ②今後の水道事業の方向性* ③全世代・全員活躍まちづくりセンター 一問一答	P18

*印の質問事項は紙面の都合上掲載しておりません。録画映像をご覧ください。

一括質問 議員の質問時間の制限はなく、質問回数は2回まで。

一問一答 一つの事項を深く掘り下げて何度でもできる。議員の質問時間は30分以内。

定例会の映像配信

久御山町議会ホームページから生中継と録画映像がご覧いただけます。



議会だより・会議録はこちら

久御山町議会

検索



林 吉一 議員

Q 防犯カメラの有効性についての考えは

A 犯罪の未然防止を目的として対応していく

質問

防犯カメラの有効性について、町はどのように考えているのか。

総務課長

犯罪の未然防止を目的として、防犯の専門家である警察署員と現地を確認しながら対応している。

質問

カメラの設置場所は、どのように選定しているのか。

総務課長

犯罪の未然防止に有効な箇所を基準とし、現場周辺を同行確認の上、選定している。

質問

通学路や公園への設置も、安全・安心なまちづくりには必要と考えるが。

町長

今後、通学路や公園なども視野に入れ、所管課において防犯カメラの設置以外の有効的な方法も含め、計画的に対応したい。

設置済みの防犯カメラについても、耐用年数経過による更新に備えながら、現在は一方しか撮影できない機能を、広角でも撮影できるものに変えるなど、地域の安全につながるようなものの導入も視野に入れ、対応したい。



防犯カメラ

Q 古川の改修工事の概要と経過は

A 古川の必要な計画断面が確保される

質問

今後予想されるゲリラ豪雨や大雨について、町としてはどのような対策をとるのか。

都市整備課長

今年度は、ソフト対策として防災安全パトロールや水防訓練を7月上旬に実施する予定。また、ハード対策としては、都市下水路の安定的な排水能力を維持していくため、今年度から、佐山排水機場の老朽化したポンプ2基やゲートなど施設更新工事を実施する。

質問

町内を流れる古川において、上流の城陽市では大きな改修工事が進められているが、古川の改修工事の概要と経過はどうなっているのか。

都市整備課長

本町の古川最下流部は、暫定計画流量である毎秒190トンの計画断面で整備が終了している。来年度完了予定の古川の改修工事が完了すると、全線において、古川の必要な計画断面が確保される。



町内を流れる古川

質問

今後の流域治水に対して、本町はどう考えているのか。

町長

計画している流域治水対策に責任を持って取り組みながら、
①氾濫を防ぐ・減らす対策、
②被害対象を減少させる対策、
③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策、の3つを軸とした流域治水プロジェクトの推進に向け、今後も引き続き、関係機関と協力し全力で取り組む。



田口 浩嗣 議員

Q デジタル教科書について
町教育委員会の考えは

A 有効であると聞いており
年度末に検証する

質問
コロナ禍で、先生同士の会議が
開催されていると思うが、Zoom
授業を想定してのZoom会議は
おこなわれているのか。

学校教育課長

府教育委員会はZoom会議、
町内小中学校は、セキュリティが
高いTeamsを使い試みている。

質問

全国小中学校でデジタル教科書
の実証事業がおこなわれている。
町教育委員会の考えは。

学校教育課長

今年度、「学びの保障・充実の
ための学習者用デジタル教科書実
証事業」に参加し、国の無償提供
により活用を始め、視覚的支援が
有効であると学校から聞いている。
今年度末に、教育効果や課題な
どの検証をおこなう予定である。

Q 重要な情報はカラー刷り
別紙でできないか

A 指摘を受けて作成し、
広報と共に届けた

質問

国が、避難の判断情報を大幅に
変更して「避難勧告」を廃止し、「避
難指示」に一本化した。

6月1日号の広報くみやまに掲載
されていた避難情報は全く目立
たなく、他の情報に混ざって見落
とされる。

新たな重要情報なので、『府民
だより』のように重要な情報はカ
ラー刷りで、また別紙で号外のよ
うに周知できないのか。

総務課長

記事がカラー刷りでないため、
重要事項なのに目立たないという
指摘を重視し、内閣府・消防庁が
作成した啓発チラシを印刷、6月
15日号の広報と共に届けた。

町ホームページや町公式LINE
でも、引き続き情報発信する。



全戸配布された啓発チラシ

質問

6月9日付朝刊に、防災情報の
変更に関連し、新型コロナワクチ
ン集団接種の災害時における中止
判断の記事が掲載されていた。

本町集団接種も、判断基準を決
めるべきでは。

コロナワクチン接種担当課長

警報発令によりワクチンが無駄
にしないための判断など、難しい

選択にはなるが、中止の判断基準
は、震度5以上の地震の発生、特
別警報や暴風警報が発令された場
合などとしている。

質問

今年度から、町はLINEを活
用した情報発信を開始したが、内
容や、現在のLINEの登録者数、
最終的に登録者数の目標設定は。
また、他の施策と併用して生か
すことができるのか。

総務課長

6月15日現在、420人が登録。
町内の携帯電話をお持ちの方全て
に、登録していただきたい。

他の活用は難しいが、広報誌と
異なり、今後、動画などの配信を
したい。



町の「LINE登録」募集中



芦田 祐介 議員

Q 町教育委員会に隠へい体質があるのでは

A 必要なことは報告しており、指摘はあたらない

質問

府教育委員会に取材をおこなったところ、近年、町立学校の教員に対して、計3件の訓告措置がなされていたことがわかった。2年連続、児童生徒への不適切指導に対する訓告措置を、町教育委員会はどのように受け止めているのか。また、議会や全保護者に報告されたのか。

学校教育課長

これらの行為は、児童生徒への人権侵害だと再認識している。訓告は、制裁的実質を備えない

矯正措置で、職員の資質向上と職務改善をおこなうものである。加害者や被害者のプライバシーにも配慮が必要なので公表せず、議会報告もおこなっていない。

質問

平成25年、民生教育常任委員協議会で、「隠へい」や「報告がない」などの指摘があった。

反省は、生かされているのか。教育委員会は、教職員との仲間意識が強く、隠へい体質や事なかれ主義だとよく指摘されている。

町教育委員会にも隠へい体質があるのでは。教育長の見解は。

学校教育課長

報告は、適切なタイミングでおこなう必要がある。今後迅速で、適切な報告をしたい。

教育長

問題事案があれば、学校長から報告を受け、情報を共有し教職員に対して処分・措置などを厳正におこなっている。

必要なことは議会に報告しており、指摘はあたらない。

Q 部落解放同盟への「隠れた補助金」ではないか

A 適正な執行であり、そのような認識はない

質問

山城地区15市町村などによる山城人権ネットワーク推進協議会（山ネット）に、久御山町は加入している。また、運営資金は、ほとんどが公金である。

山ネットを通じて、部落解放同盟山城地区協議会（以下「解放同盟」）に、人権啓発・研修活動促進事業として多額の交付金を支出している。交付額は。

総務課長

令和元年度は12件、219万円を交付した。

質問

交付額は全体の84%で、山城地区15市町村が山ネットに分担金を支払い、山ネットから解放同盟に「補助金」が流れている構図ではないのか。

山ネットはトンネル団体で、実質的には解放同盟への「隠れた補助金」では。

強制加入でもないということなので、脱退してはどうか。

総務課長

「人権啓発・研修活動促進事業交付要綱」に基づいており、解放同盟が積極的に活動した結果である。適正に執行している。

総務部長

山ネットの趣旨に基づき加入している。人権問題解決のため、15市町村で行動していく。

【令和元年度人権啓発・研修活動促進事業の交付一覧】

交付先	交付数	金額（千円）
部落解放同盟山城地区協議会	12	2,192
長岡京市人権啓発推進協議会	2	329
京都やましろ農業協同組合	1	27
NPO法人アウンジャ	1	49
全16事業／交付額		2,597

* 「山城人権ネットワーク推進協議会」資料より質問者作成



松本 義裕 議員

Q 学校のトイレの洋式化が必要では

A 洋式便器については早期に検討する

質問

町内の3小学校と中学校のトイレの洋式化率は、合わせて42・6%。8年前からほぼ横ばい状態。

トイレは心の教育と考える。子どもたちの重要な生活空間であり、トイレの洋式化が必要では。

学校教育課長

洋式便器がないトイレについては、早期に検討する。

質問

生活様式が変わりつつある中、

1カ所のトイレに1つは温水洗浄便座にする必要があるが。

学校教育課長

多目的トイレでの設置を検討し、必要性について研究をする。

質問

東角小学校体育館男子トイレは、大便器が和式1つのみ。

体育館は、体育や学校行事、災害時の避難場所として利用される。東角小学校体育館トイレについて、どのように考えているのか。

学校教育課長

災害時の避難所として利用する事などを考慮し、改修を検討する。

質問

子どもたちの生活空間である学校において、トイレの改修も含め、建て替えおよび大規模修繕に向け前倒しをしてでも早急に対応する必要はあるが。

町長

温水洗浄便座の導入も視野に入れ、トイレの洋式化など衛生環境の改善を進める。前倒しも視野に

入れ、計画的に整備を進める。



トイレの洋式化を!!

Q 新開地の五差路のカラー化は、早急に対応が必要

A 当該箇所の横断歩道のカラー表示に取り組み

質問

通学路の安全について、どのように把握しているのか。

学校教育課長

毎年度初めに、各学校から通学路の危険箇所の報告があり、報告に基づき、教育委員会職員が現場の確認をし、把握に努めている。

質問

久御山町内において、カラー化されている横断歩道は。

都市整備課長

各学校付近の通学路に関する箇所8カ所。

質問

通学路である新開地の五差路は、多くの子どもたちが登下校時に利用したり、多くの歩行者や自転車が走行する中、工業専用地域であるため、大型車両や、通行車両も多く、危険箇所の一つである。五差路の横断歩道のカラー化は、早急に対応する必要があるが。

事業建設部長

当該箇所の横断歩道のカラー表示に取り組み。



カラー化される横断歩道 (新開地五差路)



戸川 和子 議員

Q 新型コロナウイルス感染症
本町の現状は

A 住民個々の
情報提供はない

質問

新型コロナウイルス感染症、本町の現状は。
特に入院中の方、ホテルなどで療養治療されている方、自宅療養されている方の人数は。

コロナワクチン接種担当課長

感染者への対応は原則京都府でおこなうので、本町住民個々の療養状況については、情報提供されていない。

個人の情報として提供されているのは、感染者の住所・氏名などと感染経路だけである。

Q エssenシャルワーカーの
ワクチン接種は

A 優先順位を
検討していく

質問

国ではおおむね7月中旬に65歳以上の高齢者ワクチン接種を終えるように示されている。
本町では、集団接種は順調に進んでいるが、個別接種が遅れていると聞いているが。

コロナワクチン接種担当課長

医療機関の先生方に予約接種の前倒しや、集団接種への誘導をするなどして、7月末までの高齢者接種の完了に向け、努力をさせていただいている。

質問

学校の教師などエssenシャルワーカーのワクチン接種はどのようになっているのか。

町長

エssenシャルワーカー（保育

教諭・養護教諭・仲よし職員・教職員・施設従事者など）については、クラスターが発生する懸念が大きい現場であるので、優先順位を考え接種を検討していく。



町集団接種会場（京都岡本記念病院）

Q 本町独自の奨学金返還支援
事業の考えは

A 検討を進めるように担当
部署に指示する

質問

日本学生支援機構によると、返済が必要な貸与型奨学金の利用者は約129万人で、学生の2・7人に1人が利用している。

また、卒業後の返還額は平均すると、一人あたり年間約20万円で、返還者の約7%が延滞しており、返還が重くのしかかっている。

京都府と企業がそれぞれ2分の1ずつ補助をする京都府就労・奨学金返済一体型支援事業がある。制度導入企業の増加に向け強化すべきでは。

産業課長

今年度から実施している就域ダイレクターを活用し、本事業に対する声を聞くなど、企業との連携を強めていく。

質問

奨学金返還支援事業は、教育負担の軽減による子育て環境の充実による少子化対策、また、人材の育成・確保など定住促進になる。本町独自の奨学金返還支援事業の考えは。

町長

人口減少対策、定住促進は喫緊の課題であるので、その効果などを参考にし、検討を進めるように担当部署に指示をする。



松尾 憲 議員

Q 官民連携手法、住民の
声が一番大事と思うが

A 「つくり育てる」を持って
整備していきたい

質問

中央公園は昭和53年供用開始以降43年が経過している。施設の老朽化が見られるがごこまでの改修工事と、毎年の費用は。

都市整備課長

令和2年のテニスコート人工芝全面張り替えに約1600万円、毎年の修繕費用は約80万円、管理費用は年間約2000万円。

質問

「まちのこわ構想」でにぎわいを創出する公園整備に向け、社会

実験などを通じ利用者の声を聞いたとあるが、既設の運動施設利用者の声が少ないのでは。

都市整備課長

確かに少ないが、利用者の声は大事にしていきたい。

質問

北側エリアの整備で、まずは駐車場整備がいわれ、今後は「有料化」するとなっている。これは問題である。利用者の声をもっと真剣に聞いて判断すべきでは。

都市整備課長

駐車場有料化については、これまで以上に町民が気軽に集う場にしたと思うっており、事業性を含め今後考える。



中央公園野球場

質問

グラウンド地下の調整池整備は令和6・7年度工事とあるが、グラウンド利用者の声を聞かれたのか。工事期間中の代替施設は。

都市整備課長

まちのこわ構想、調整池整備という大きな構想で進んでおり、代替施設は、木津川河川敷運動広場など含め協議調整していく。

質問

「まちのこわ構想」「まちづくりセンター構想」の『官民連携』による整備方針について、「民」とは住民の「民」である。

住民の声をしっかりと聞き、住民とともに物事を進め、つくり上げていくことが一番大事と思うが、どのように考えているのか。

副町長

公共施設をつくるだけでなく、つくりながら育てるというコンセプトを持って整備していく。中央公園の整備は、政策形成過程であり、着地点を見据え、しっかりと進めていきたい。

Q 校舎壁面タイル
修繕後の状況は

A 目視点検では
問題はみられない

質問

久御山中学校の壁面タイル改修工事は昨秋終了したが、その後の状況はチェックしているのか。

学校教育課長

施工箇所については、目視により浮きや剥離はみられない。

質問

当初の新築工事における壁面タイル剥離について、紛争審査会にかけられているが、その経過は。

学校教育課長

仲裁申請から3年が経過し、今年3月に14回目の審査会が開かれた。集中的な証拠調べなど審議が進んでおり、まだ結論は見通せない状況である。



中野ますみ 議員

Q コロナ禍での事業者支援策について

A 産業振興計画に基づく取り組みを実施

質問

ものづくりの町として、一層の支援と対策が必要である。今後どのような対策を考えているのか。

産業課長

今年度から就域ディレクターの活用をはじめ、産業振興計画に基づく取り組みを実施する。

質問

昨年実施された町独自のマル久持続化応援金を、減少した売り上げの補填などに乗せ給付をおこなうべきではないか。

産業課長

昨年のマル久持続化応援金では797件、2億4655万円を給付している。今年度も町独自に、水道料金4カ月分の基本料金を減免している。

Q 新市街地（みなくるタウン）にかかる事業費は

A 事業計画案が具体化していく中で確定していく

質問

新市街地整備の総事業費予算が報告されていない状態であるが、開発事業費はいくらか。

事業建設部参事

町内では組合施行による土地区画整備事業が3カ所で施工されている。佐山土地区画整備事業では、約10億6800万円、南大内土地区画整備事業では、約5億4700万円となっている。各区域における整備手法や事業計画の作成に伴う条件などが異なるので、施工実績も参考にしながら、各区域の

事業計画案が具体化していく中で、それぞれ事業費が確定していく。

質問

森南大内地区の開発がまだに進んでいないが、どう認識しているのか。

事業建設部参事

バスターミナルやまちの駅クロスピアくみやま、大型ショッピングセンターの駐車場として活用されている。にぎわいの創出に向け、民間企業との調整に努める。

Q インボイス制度（適格請求書）導入について

A 消費税を社会保障の安定財源として確保する

質問

2023年10月から実施されるインボイス制度により、免税業者が課税業者への転換圧力がかかり、かなりの中小零細業者が廃業に追い込まれると予想されているが、認識しているのか。

産業課長

制度は、消費税の納税に際して課税売上高が1000万円未満の免税事業者に、適格請求書を発行するため課税事業者として登録する必要がある。国が、消費税を社会保障費の安定財源として確保するものである。

質問

この制度にストップをかけられるのは、商工会議所、その他の団体、そして自治体である。国に対して反対の意思を表明するべきと考えるが。

産業課長

今後の国の動向を注視して対応していきたい。

請求書	
〇〇(株)御中	(株)△△ (T 1234...)
●年■月分	
■月▲日	割りばし 550円
■月▲日	牛 肉 ※ 5,400円
	合 計 43,600円
10%対象 22,000円	内税 2,000円
8%対象 21,600円	内税 1,600円
※は軽減税率対象	

インボイス (国税庁HPより)



巽 悦子 議員

Q 生理用品の学校や公共施設への配置は

A 影響を受ける子どもたちへの配布に重点を置く

質問
コロナ禍で女性の生理の貧困がクローズアップされている。これは、SDGSの観点からも重要。生理用品の学校や公共施設のトイレなどへの設置、生理用品の無償配布について聞く。

学校教育課長

町内の小中学校では、コロナ禍以前から保健室に生理用品は置いており、児童生徒が必要な時に養護教諭に申し出ることで生理用品を無償で配布をしており、相談しやすい環境ができていますと認識し

ている。

学校や公共施設のトイレなどへの設置は、衛生面や管理面で、不安な要素があるので、コロナ禍による生活費の影響を受ける子どもたちへの配布に重点を置き、町防災用物資備蓄の生理用品も活用する。

必要な児童生徒に行き渡るよう、対応を考える。

質問

大事なのは、気兼ねをしなくてもよいこと。

公共施設では、トイレなどに引き換えカードを置き、声をかけなくても手元に届く方法が必要では。



大山崎町の引き換えカード (HPより)

総務部長

役場にといい意味と思うが、衛生面や管理面で問題があるので、すぐに実施する予定はない。

Q まちづくりセンター事業は公民館事業か

A 社会教育法第20条の公民館が核と考える

質問

今回、公民館廃止条例が提案されている。次のまちづくりセンター事業は、公民館事業か。

行財政課長

社会教育法第20条に規定される公民館が核と考えている。

法律上の整理や条例の整備は、今の公民館、プラス7機能を設けると整備計画に明記した。

例規的な整備は今後、十分調整し、公民館機能を確保しながら他の機能を付随させていくという条例上の整備は必要と考える。

質問

まちづくりセンターは、「公民館的な部分にも入る」ということである。このことを位置づけた「センター化」でよいのか。



解体前の中央公民館

副町長

社会教育法第20条の「公民館」と確認もしていただいた。

「これからの公民館は、これまでの公民館にプラス現代的課題も取り組んでいくべき」と、公民館整備検討委員会で専門家が述べられた。この観点を取り入れた公民館にしていきたい。

質問

解体後の期間は、どのように公民館事業を進めていくのか。

社会教育課長

生涯学習の活動の場を一層確保できるように努めたい。



町長に「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望」を提出

～久御山町議会災害対策会議～

6月28日、久御山町議会災害対策会議を開き、新型コロナウイルス感染症に関する支援策や住民の皆さまからの意見・要望などを出し合いました。7月1日には、議会災害対策会議でまとめた「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望」（右記）を町長に提出しました。

「緊急要望」の概要

<生活支援・経営支援>

- ・水道基本料金の減免継続をすること
- ・生活困窮者、特に学生や子育て世代への支援
- ・厳しい零細企業（フードトラック出店含む）への支援
- ・子ども一人当たり1万円のプレミアム商品券を支給
- ・プレミアム商品券の還元率「引き上げ」への支援
- ・高齢者の健康づくりの支援（自治会でのラジオ体操など）

<ワクチン接種>

- ・ワクチン接種は強制ではなく、努力義務であることを周知徹底
- ・町職員の体制及びワクチンバンクの設置の検討
- ・職域集団接種の状況を調査し、支援すること
- ・町職員への過度な負担などを検証し、軽減に努めること

<相談窓口の設置>

- ・コロナ感染に関する相談窓口の設置
- ・コロナ陽性者の相談窓口を設置

<認定こども園・小中学校の対応>

- ・コロナ感染症について子ども間のいじめ防止の指導
- ・認定こども園休園の場合、一時保育施設などを確保
- ・コロナ陽性の乳幼児への病児・病後児保育の実施
- ・小中学校内の消毒は、抗菌コーティングや業者委託などをおこない、教職員の負担軽減を図ること

1年間お世話になります

『議会だより』5月号で、議会モニターを募集しましたところ、7名の方から応募をいただきました。ありがとうございます。

議会モニター7名が決定！

7月3日・6日に、議長から委嘱書を交付しました。1年間、いろいろな角度からのご意見をいただければと思っています。

委員長 松尾 憲
副委員長 巽 悦子
委員 篠田 久和
松本 義裕
林 吉一
樋口 房次
岩田 芳一
オブザーバー 中井 孝紀
(議長)

【広報広聴委員会】



ふれあい、かたりあう日常が持てないコロナ禍、ワクチン接種が進む中、先行きが見通せない毎日です。通年議会実施に合わせ、住民の皆さまの意見をお聞きする「議会モニター」制度を始めます。今号から新たな広報委員で議会だよりの編集をおこないますので、紙面の充実を図り、発信力を高めてまいります。松尾 憲

編集後記

このまち
このひと
No.31

自分流の街道歩き 終着は「奥の細道」へ

5年間で旧東海道、旧中山道、甲州街道を歩いてきた四戸さん。

コロナ禍で旅行社の企画ツアーが中止のため、松尾芭蕉の「奥の細道」ルートを目指す「街道歩き」も、甲州街道でちよつと小休止。

自分流・街道歩きは、これからもまだまだ続きます…。



しよしよ 四戸 清 さん (75歳)
(ミサワ林在住)
東角校区自主防災会連合会会長

街道歩きのきっかけは 町広報誌の連載「ふるさと旅日記」

70歳になり余暇を生かしたいと考えていた時に、四戸さんを「街道歩き」へ導いたのは、町『広報くみやま』連載の「ふるさとの旅日記」(阪部五三夫氏執筆)でした。「ふるさとの旅日記」には、久御山町の林、東一口、佐山地区などの先人たちの旅日記が描かれています。

林村庄屋の田中定信さんが助郷嘆願のため、淀藩主21代稲葉正邦に随行し、東海道を江戸へ向かった記録「東海道中記」編。

明治初年まで、参詣は修行の妨げになるといわれていた頃、女性救済の善光寺を目指した、東一口

の山田里さんたちを描いた「女たちの善光寺参り」編。伊勢神宮参拝を目的に結成された伊勢講。佐山村伊勢講の奥野三郎兵衛さんたちが文久2年(1863年)の伊勢神宮参拝道中を描いた「伊勢参宮道中記」編。

最後は「奥の細道」

月1回ペースで歩いた記録は、久御山町郷土史会報に「私の旅日記・旧東海道五十三次を歩く」や久御山町シニアクラブ誌「年輪」にも投稿しています。「街道歩き」が再開したら、甲州街道の続きから日光街道、奥州街道に入り、ゴールと決めた「奥の細道」の終着・大垣市まで歩きます。

(聞き手・広報広聴委員会)



郷土史会「郷土研究 第29号」より

表紙の「くみやま」を書いたのは山田莉子さんです。



久御山中学校3年生
山田 莉子さん

中学校では吹奏楽部に所属(クラブ活動)し、クラリネットを担当しています。

1年生の時、初めて手にしたクラリネット。帰宅後も自宅近くの田や畑に囲まれたところで練習を重ねました。

しかし今は、後輩への指導という役割があります。

昨年からのコロナウイルス感染症拡大のため、学校の休業、各種発表会の中止、修学旅行の行き先変更など、つらい経験もしました。

「友だちとの会話が楽しい」と山田さん。つらい時こそ、友達は最高の理解者です!

